

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三菱ガス化学株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル	
本票作成	部署名：三菱ガス化学株式会社 水島工場 研究技術部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	キシレン類の異性化・分離及びその誘導体の製造。(製品生産数量 865,899t)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		倉敷市水島海岸通3-10	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量		目標年度(平成 26 年度)	
	434,396 t CO ₂		433,168 t CO ₂		412,676 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(平成 25)年度排出量	
	①	水島工場		433,168 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25)年度削減実績		目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	26.1 %		5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製造業として事業拡大等もあり、コントロールできる数値として生産数量を採用し、GHG排出量/生産数量=原単位で算出しています。	原単位当たり排出量			
		基準年度	(25)年度	目標年度	
		0.754	0.557	0.716	
		t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標		関連数値(平成 25 年度)	達成率等
【削減状況の自己評価】					
平成25年度は、前年と比較し、生産数量が改善されたことから、温室効果ガスとして前年度を上回る結果となった。しかし、現状判断としている原単位基準においては、省エネルギー活動が功を奏し、昨年度(排出原単位0.562t-CO ₂ /t)を上回る改善効果をあげております。また、昨年に引き続き目標値をクリアーしています。					

【推進体制】

工場のエネルギー管理体制にて、全社的なGHG削減目標／RC目標に基づく目標設定を行い、個々のテーマについてはTPM活動における省エネルギー（個別改善）において取り組んでいます。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	<p>主力製品のキシレン類の異性化・分離のプロセスに関しては、昨年に引き続き工場をあげて『省エネルギー化』のプロセスを検討しています。</p> <p>工場としては、装置稼働率が低迷する中、装置の省エネルギー化の個別改善を継続的に進めています。平成25年度は、テーマ毎積算で約12,400トン-CO2/年の削減を達成しました。（ボイラー運転効率化、運転最適化等）</p> <p>また、現在取り組んでいるテーマとして、下記項目があります。</p> <p>①各装置における熱回収（放熱ロス削減） ②ボイラー排熱回収（エコノマイザーの設置）</p> <p>さらに、各製造課からメンバーを専任させ、案件発掘を強化を目的に省エネプロジェクトを立ち上げました。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--